

絆

題字
新潟市教育委員会
前田 秀子 教育長

新潟市
青少年育成協議会

第7号

●発行●
平成29年1月11日

●事務局●
新潟市教育委員会
地域教育推進課

時代を担う 青少年の健全育成に向けて



新潟市青少年育成協議会
会長 関川 弘雄

新春を寿ぎ皆様の益々のご多幸をお祈り申し上げます。

日ごろから新潟市青少年育成協議会（以下育成協と略す）の諸活動にご支援とご協力を賜り誠にありがとうございます。また、各々の地区育成協では地域の特色を生かした様々な取組を実施され、青少年の健全育成にご尽力いただいていることに心から感謝申し上げます。

次代を担う青少年が社会の形成に参画する意欲をもつことは、未来へ希望を託すために重要であります。社会を構成する大人には、青少年に対して特別な配慮と支援を行い、その健全な成長を期する責務があると言われていきます。

そのためには、(一)人とのふれあいを通して、青少年の心を育てる。(二)青少年の夢を育み、社会の一員としての自覚をもった青少年を育てる。(三)大人の意識改革を進め、家庭、学校、地域社会の教育

力を高める。などが考えられ、問題解決に向けて、各地区育成協で活発な取組が行われ、多くの成果が挙げられています。しかし、このようなすばらしい成果を育成協全体にどのように広げていくか、どう連携していくかが課題となっています。

そこで平成二十八年度の育成協会長・事務局研修会では、「子どもたちを守る環境づくり」を大きなテーマに掲げ、講演とパネルディスカッションに分けて先進事例の紹介が行われ、社会環境の浄化など青少年問題に関わる情報（意見）交換や関連課題を話し合う場を設けることができたと思っております。

研修会終了後、参加者より他の育青協の活動状況がよく分かった、これからもこのような講演、発表会を開催してほしい等の意見が寄せられ、今後の理事会に諮っていきたいと考えています。

私たち青少年の健全育成に関わる者は、地域における諸活動を通して若者たちとの交流を深め、お互いが理解し合える環境をつくっていくことが肝要だと思います。今年も皆様の変わらぬご活躍を祈念するとともに、「ご指導、ご鞭撻ください」ようお願い申し上げます。

新潟市青少年育成協議会の主な活動紹介

非行・被害防止キャンペーン

青少年の非行・被害防止全国強調月間は毎年七月であることから、今年度は七月二十三日（土）に「ストップ万引き」「インターネットの正しい利用」を呼びかける街頭PR活動を実施しました。

新潟駅や万代シティ周辺で、日本ボイスカウトや海洋少年団の子どもたちをはじめ、約七十名で啓発用うちわ八百本を市民の方々に配布しました。子どもたちの元気な呼びかけに、たくさんの方々の皆さんが笑顔で応えてくれました。

同時期に他の区でも地区の育成協の皆さんが、キャンペーンを実施しました。また、この時期以外にもキャンペーンを実施する地区があり、青少年を思う意識の高さが心強いです。



会長・事務局研修会

今年度の会長・事務局研修会は、十月二十四日（月）に黒崎市民会館で開催され、四十二地区の青少年育成協議会から七十名が参加しました。



研修会のテーマを「子どもたちを守る環境づくり」とし、最初に家坂博幸様（浜浦小学校区青少年育成協議会顧問）から「森づくりとボランティアの心」という演題で講演をしていただきました。次に、子どもたちを取り巻く環境の中から①自然環境②社会環境③ネット環境を選び、三人のパネラーからそれぞれのテーマについて地域での活動等を紹介していただき、その後会場の参加者と質疑応答や意見交換を行いました。アンケートも参考にしながら、これから皆様に関与する研修会を目指していきます。

わたしの主張 新潟市地区大会

八月二十七日(土)、万代市民会館を会場に、市内の中学校十七校、約七百名の応募の中から選ばれた十二名の中学生が、日ごろ考えている思いを熱く語りました。

司会は、東石山中学校三年堀川恭人さん、榎本愛未さんがさわやかに務めました。また、アトラクションでは、木戸中学校音楽部、東石山中学校合唱部の皆さんの澄んだ歌声が会場の感動を呼び、大会を盛り上げました。

最優秀賞には、小須戸中学校三年小畑悠さんが選ばれました。小畑さんは新潟市地区代表として県大会に出場し、素晴らしい発表をされました。

各地区では、応募要項にある育成協推薦枠の活用として地域の大会を開催するなど、ご支援とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。



〈敬称略〉

“わたしの主張”発表されたみなさん(発表順)

学校名	学年	氏名	発表テーマ
大江山中学校	3	中川 優瞳	「ごめんね。」
鳥屋野中学校	3	石山 巴菜	「食文化」から国際化へ
★小須戸中学校	3	小畑 悠	食べられることへの感謝を忘れずに
東石山中学校	3	山崎 優人	笑顔溢れる学校へ
小合中学校	3	石黒 椎奈	自信がなかった私
小合中学校	3	江口 茉優	兄から学んだこと
白南中学校	2	寺嶋 ゆう	よりよいコミュニケーションを目指して
両川中学校	2	畑野 安奈	シンガポールで学んだこと
南浜中学校	2	星野 智哉	無関心からの脱却
西川中学校	2	高橋 羽菜	戦争と平和
新津第五中学校	3	武田 深結	「悩み」がもたらしてくれたもの
小針中学校	1	米倉 涼葉	きれいな川をめざして

★新潟市地区大会 最優秀作品

「食べられることへの感謝を忘れずに」

小須戸中学校三年 小畑 悠さん

「え、なにこの料理、まずそう。」給食の食缶を覗いてつぶやくクラスメイト。「ねえねえ、これまずかった?」隣の席の人に味を確かめるクラスメイト。「あんまりおいしくないかな。」その質問に応答するクラスメイト。「じゃあ食べないでいいや。」いつも簡単に給食を残すクラスメイト。私のクラスでは、給食中に時々このような会話が聞こえてくる。私たちのために一生懸命野菜を作ってくださっている農家の方々の、また、私たちのために手間暇かけて調理してくださっている調

理員さんたちの存在を無視するかのよう、非常に心無い言葉である。私はそのような言葉を聞くたびに悲しくなる。そして、同時に祖父母のことを思い出す。

私の祖父母は農業に従事している。いつもおいしい野菜やお米を作ってくれているのだ。朝早くからトラックで畑に出かける祖父母の姿、真夏も畑に出て、トマトやキュウリを収穫している祖父母の姿、冬の寒い日でも、収穫した野菜を冷たい水で洗っている祖父母の姿…。私は何度となく、野菜を懸命に育てている祖父母の姿を見てきた。それらは私にとって非常に楽しく、飽きずに見ていられる光景である。だから私にとって『農業』

や『野菜』とは、とても身近な存在なのだ。給食に使われている野菜やお米も同様である。祖父母がしているように、給食で使われている野菜を育てている生産者の方も、手間暇をかけていることに変わりはないはずだ。そんな野菜やお米を粗末にしている発言や行為は、絶対に許せない。

どうやら、日本人が一年間に捨てる食べ物で、世界の約七千人の人々が、一年間、一日三食食べ続けることができそう。これは、修学旅行先のJICA東京で知った話である。私はこの事実を目の当たりにして、驚かすにはいられなかった。まさか、日本人がそれほどまで食料を捨てているなんて。そして、それほどまで食料難で困っている人が大勢いるなんて。毎日不自由なくご飯を食べられる私には、考えられない話である。

でも、だからといって考えなくてもよい話ではない。人類は、この問題と向き合っ

ていかなければならないのだ。食べたくても食べられない人がいるのに対して、私のクラスではどうだろう。食料へのありがたみを持たず、不自由な生活が当たり前前。そんな人が増えているのではないだろうか。

私は生徒会本部の一員として、そのような状況を良くしていくために、まずは自分の学年・学校から変えていきたい。例えば、給食委員会と協力して、給食について考える企画をしたり、学校に農家の方を招いて講演会をすることで、たとえ少しの人でも給食や食料に対する意識が変わっていくのではないかと。

私は、決して自分が食べ物を粗末にしているとは思わない。それは、幼い頃から私を育ててくれた祖父母の影響が大きいはずだ。だが、私の周りにはそのような経験をしていない人も数多くいる。私はその人たちに、食べ物の大切さや、物を大事に扱うことの素晴らしさを伝えていかねばならないと思う。給食のことも、心無い言葉を聞き逃してはいけないのだ。こんな言葉を発してはいけない。そう思ったら、声に出して相手に伝えなければならぬのだ。それが、農家に生まれた私の使命であると思う。

私はこれからも、食べ物を大切にして生きていきたい。そして、周りの人と協力して食べ物を大切にするために、まずは委員会活動による呼びかけなど、小さなことからコツコツ始めていきたい。塵も積もれば山となる、という言葉のように、そのコツコツ続けたことが最終的には大きくなり、多くの人の食に対する意識を変えられるはずだ。

各区青少年育成協議会の活動紹介

～新潟市の青少年の健全な育成に向けて～



秋葉区

「秋葉区一斉クリーン作戦」が4月17日(日)に実施され、大人から子どもまで総勢8920人が区内のゴミ7t余を集めました。



北区

8月21日～22日に「サマーキャンプin海辺の森」を開催。サンドクラフト、カレー作り、スイカ割や地引網などを楽しみました。



南区

月潟中学校生徒および職員で毎年4月に地区美化運動に参加しています。これからも地域の方々と共に幸せの種を蒔いていきます。



東区

下山地区では、街頭育成部が3班3コースに分かれ、夏休み巡回パトロールを3回実施しました。以前より子どもの姿が少なくなったと感じます。



西区

黒埼地区では、毎年「青年の集い」を実施しています。青年、地域の人、親が一緒になってイベントを盛り上げます。



中央区

関屋小学校地区では、毎年9月の第1土曜日に関屋浜の海岸清掃を行っており、今年で35年目です。数年前には国から表彰されました。



西蒲区

西蒲区育成協では、警察署・保護司会と連携して越後曾根、巻、岩室駅前7月13日(水)に万引き防止キャンペーンを実施しました。



江南区

両川地区では春に「花絵作り」、初冬には「スケート教室」を実施しました。子どもたちの凛刺さ、素直さ、逞しさを地域で大事に育てています。



平成二十八年年度
県・市功労者表彰受賞者紹介
青少年健全育成功労者新潟県知事表彰

西川地区 白倉 政男様
 三十年以上の永きにわたり、地域の青少年健全育成のため街頭育成や子どもを主体とした地域行事、環境美化活動に取り組みました。また、新潟市青少年育成協議会の会長や新潟県青少年健全育成県民会議の理事を務めるなど、組織の中心となって尽力しました。

新潟県青少年健全育成県民会議会長表彰

黒埼地区 大谷 一男様
 黒埼地区の会長として、黒埼地区青少年健全育成大会やスポーツ活動・交通安全指導等様々な活動で青少年の活躍の場を広げる取組をしており、その意欲的な活動姿勢は他の模範となっています。

秋葉区 山田 道夫様

秋葉区の会長として、大勢の区民が参加する秋葉区一斉クリーン作戦や秋葉区青少年健全育成・人権啓発・安心安全推進大会を主催するなど、永年にわたり大きなリーダーシップを発揮しています。

新潟市青少年育成協議会 功労者表彰

大形地区 石附 良一様
 地区育成協の副会長や街頭育成部副部長を歴任し、街頭パトロールやスポーツ大会の世話役、他の地域団体との連携に献身的に務め、他の模範となりました。

浜浦小学校区 家坂 博幸様
 関屋浜海岸清掃活動や汐見台市民協働の森づくりに関わり、地域の環境整備に大きく貢献しました。会長退任後も顧問として、育成協の活動を推進しています。

曾野木地区 土田真佐子様

優れた道徳的判断力と優しい対応で、街頭育成活動等に大きな力を発揮しています。会計係に加え、活動にも積極的に関わる姿勢は他の模範となりました。

白根地区 近藤 保一様

役員を歴任し、強い責任感で地区育成協の組織改編に取り組み、規約や申し送り事項の整理、役員更新の円滑化等活動の発展に大きく貢献しました。

坂井輪中学校区 飯山 由紀様

永年事務局として活動を支えながら、斬新なアイデアを提供し活動を大きく飛躍させました。また、仕事と地域活動を両立させる姿が他の模範となりました。

黒埼地区 木村 正純様

永きにわたり副会長として会長を補佐するとともに、民生児童委員の経験を生かして活動を推進してきました。見識が高く、ご意見番としても貢献しています。

巻地区 山賀 雅樹様

地区ウォークラリーを立案して、青少年と地域住民との関わりを深める活動を推進し、地域を愛する青少年の育成に大きく貢献しました。

山賀様は平成二十七年十月、ご逝去されました。心より哀悼の意を表します。
 受賞おめでとうございます。

新潟市青少年育成協議会の組織

区	地区名	名称	区	地区名	名称
北	1 松浜	松浜地区青少年育成協議会	江南	26 大江山	大江山地区青少年育成協議会
	2 南浜	南浜地区青少年育成協議会		27 曾野木	曾野木地区青少年育成協議会
	3 濁川	濁川地区青少年育成協議会		28 両川	両川地区青少年育成協議会
	4 光晴	光晴中学校区青少年育成協議会		29 横越	横越地区青少年育成協議会
	5 岡方	岡方地区青少年育成協議会		30 亀田	亀田地区青少年育成協議会
	6 木崎	木崎地区青少年育成協議会	秋葉	31 秋葉	秋葉区青少年育成協議会
	7 早通	早通地区青少年育成協議会	南	32 白根	白根青少年育成協議会
	8 葛塚	葛塚中学校区青少年育成協議会		33 味方	味方地区青少年育成協議会
東	9 東新潟	東新潟地区青少年育成協議会		34 月潟	月潟地区青少年育成協議会
	10 木戸	木戸中学校区青少年育成協議会	西	35 小針	小針中学校区青少年健全育成協議会
	11 大形	大形地区青少年育成協議会		36 小新	小新中学校区青少年育成協議会
	12 藤見	藤見中学校区青少年育成協議会		37 五十嵐	五十嵐中学校区青少年育成協議会
	13 下山	下山地区育成協議会		38 坂井輪	坂井輪中学校区青少年育成協議会
	14 山の下	山の下中学校区青少年育成協議会		39 黒埼	黒埼地区青少年育成協議会
	15 石山	石山中学校区青少年育成協議会		40 内野	内野中学校区青少年育成協議会
	16 東石山	東石山地区青少年育成協議会		41 中野小屋	中野小屋地区青少年育成協議会
中央	17 宮浦	宮浦中学校区青少年育成協議会	42 赤塚	赤塚地区青少年育成協議会	
	18 山潟	山潟中学校区青少年育成協議会	西蒲	43 岩室	岩室地区青少年育成協議会
	19 関屋	関屋小学校区青少年育成協議会		44 西川	西川地区青少年育成協議会
	20 浜浦	浜浦小学校区青少年育成協議会		45 潟東	潟東地区青少年育成協議会
	21 有明台	有明台小学校区青少年育成協議会		46 中之口	中之口地区青少年育成協議会
	22 白新	白新地区青少年育成協議会		47 巻	巻地区青少年育成協議会
	23 寄居	寄居地区青少年育成協議会			
	24 鳥屋野	鳥屋野中学校区青少年育成協議会			
	25 上山	上山中学校区青少年健全育成協議会			